

# 山形県国際交流センター 外国人相談窓口通信

平成27年6月

(公財)山形県国際交流協会

山形県国際交流センターでは、県内にお住いの外国人の皆さまのために、日常生活に関する困りごとなどを母国語で気軽に相談できる窓口を開設しております。平成26年度の相談窓口の活動状況や相談の状況などをご紹介するとともに、併せて全国と県内の外国人人口の概況等をお知らせいたします。

## 平成26年度 外国人相談窓口活動状況報告

### ■相談員研修会の開催■（年2回開催）

第1回は、6月26日（木）に「相続に関する実務－相続・遺言・成年後見－」をテーマに、山形県司法書士会副会長の小松修さんからご講話いただきました。第2回は、11月29日（土）に、国際理解実践フォーラム2014の第1分科会「地域の外国人との共生を考える」の講演として開催いたしました。講師には、長崎県立大学大学院教授の季節子先生をお招きし、「グローバル化時代のリプロダクティブヘルス・ライツのあり方」をテーマにご講演いただきました。グローバル化は「お互い様化」であること、また、社会資源としての医療通訳の整備が重要課題であることなどを学びました。

### ■「話題あれこれ話のサロン」の開催■

第19回目となった今回は、平成27年1月24日（土）に、二つのテーマで実施しました。消費生活アドバイザーの加藤陽子さんからは、「かしこいカードの使い方」をテーマに、クレジットカードの仕組みを始め、便利な使い方や注意すべきことなどについて、ご講話いただきました。山形済生病院の感染管理認定看護師の高橋睦さんからは、「くらしの中の感染対策」をテーマに、感染防止の基本的な考え方を分かりやすく教えていただくとともに、実際に手洗いをして、どれだけバイ菌が減ったかを確認するなど、実践的な講座でした。

## 外国人相談窓口 平成26年度の状況から

平成26年度に受けた相談件数は458件で、25年度の435件に比べ23件増加し、前年度比は105.3%となっています。

### ◆相談者の国別傾向

外国人からの相談は238件で全体の52.0%（前年度比±0）、日本人からの相談は216件で全体の47.2%（同1.0ポイント増）、国籍不明が4件で0.9%（同0.9減）でした。

外国人からの相談を国別にみると、ブラジル人からの相談は相談全体の14.2%（同1.4減）、中国人12.4%（同±0）、韓国人9.4%（同1.2減）、フィリピン人7.9%（同0.8減）、その他の国々の方は、8.1%（同3.5増）となっています。県内のブラジル人人口は昨年同様少ないのですが、リピーターの方の存在が相談件数を押し上げました。

### ◆言語別の傾向

日本語での相談は302件で全体の65.9%（前年度比0.2ポイント増）、中国語は46件で10.0%（同1.0増）、ポルトガル語での相談が36件で7.9%（同0.6減）、英語の相談が31件で6.8%（同2.4増）、タガログ語が25件で5.5%（同0.4増）、韓国・朝鮮語が17件で3.7%（同3.7減）その他の言語が1件で0.2%（同0.2増）の構成となっています。

### ◆相談の形態・男女比

電話での相談は、56.8%（前年度比0.9ポイント増）、面接相談は38.2%（同1.6減）、メールによる相談は5.0%（同0.6増）でした。

相談者の男女比を見ると、女性の相談者が67.2%（前年度比3.6ポイント減）、男性の相談者は32.5%（同3.3増）、不明が0.2%（同0.2増）で、男性からの相談が増えました。

◆過去5年間に当センターが受けた相談の項目別相談件数の推移 (件)

項目	H22	H23	H24	H25	H26
1. 通訳・翻訳・語学学習等	56	54	57	53	52
2. 出入国・在留資格等	60	65	65	67	74
3. 家庭・戸籍関係	29	33	33	29	35
4. 社会保障諸制度	28	21	20	24	23
5. 医療関係	14	12	10	5	7
6. 労働・就職	5	6	27	10	10
7. 教育関係	6	8	23	31	13
8. 交通・運転免許等	17	9	4	3	9
9. 生活一般	134	155	180	158	181
10. その他の紹介・照会等	45	57	43	55	54
合計	394	420	462	435	458

◆相談項目別事例

① 通訳・語学学習等(52件 相談全体の11.4%)

電話での通訳対応、翻訳依頼については他の団体を紹介しました。相談者のニーズにあわせた日本語教室の紹介、また、子どもの日本語学習に関する相談等にも対応しました。

② 出入国・在留資格等(74件 16.2%)

在留期間の更新、在留カードに関する情報提供、永住に関する相談等があり、外国人在留総合インフォメーションセンターや仙台入国管理局を紹介しました。外国のパスポートに関する相談も複数ありました。

③ 家庭・戸籍関係(35件 7.6%)

国際結婚の手続きに関する情報提供をしました。夫婦間のトラブルについては、お話をよくお聞きし、アドバイスや、専門機関を紹介するなどの対応をしました。

④ 社会保障諸制度(23件 5.0%)

年金に関する相談(受給資格、受給年齢、遺族年金、脱退一時金など)があり、市町村や日本年金機構を紹介しました。また、市民税や健康保険料などに関する相談は、該当する市町村につなぎました。

⑤ 医療関係(7件 1.5%)

健診の問診票に関する対応や、外国の医療事情に関する情報提供などを行いました。

⑥ 労働・就職(10件 2.2%)

求職相談はハローワークを紹介しました。また、労働条件や職場のトラブルに関する相談については、専門機関を紹介しました。

⑦ 教育関係(13件 2.8%)

日本語を話せない児童生徒の、小中学校への編入に関する相談については、山形子ども日本語サポートネットと連携しながら対応しました。

⑧ 交通・運転免許等(9件 2.0%)

運転免許の取得、車検証をなくした場合などの対応についての情報提供、また、交通事故に関する相談もあり、専門機関を紹介するなどの対応をしました。

⑨ 生活一般(181件 39.5%)

「母国語で話を聞いてほしい」「経過報告・結果報告」「不安な思い」を聞くなど、相談者の気持ちを傾

聴する相談が多くありました。

⑩ その他の紹介・照会等(54件 11.8%)

当センター相談業務についての問合せ、外国人の支援団体や、自助グループに関する情報を求める相談がありました。山形市国際交流センターで実施している専門相談窓口を紹介するケースも増えました。

全体の特徴としては、例年同様リピーターが多いことが挙げられます。また、エアリサポーターでは数少ない、ベトナム語やタイ語、ネパール語などのニーズが徐々に増えています。

**平成27年度 相談員研修会について**

今年度第1回目の外国人相談窓口相談員研修会を、7月3日(金)に行います。他県の相談員も参加し、広域での連携を作りながら、「介護保険制度を学ぶ」をテーマに、山形市福祉推進部から講師をお招きして開催します。また、2回目の開催時期は未定ですが、今年度も2回の研修を予定しております。

**山形県の外国人人口の概況**

(数字は山形県商工労働観光部経済交流課国際室による)

山形県内の平成26年12月末における外国人人口は68カ国6,023人で、平成25年の6,031人から8人(0.13%)減となり、平成17年の7,703人をピークに9年連続して減少しました。

**国籍別の在留状況**

**市町村別の在住状況 26年12月末**

国籍	外国人人口(人)			構成比 (%)	対前年比 (人)	対前年増 減率(%)	市町村名	外国人 人口(人)	対前年比 (人)	対前年 増減率(%)
	H24	H25	H26							
中国	2,669	2,642	2,563	42.6	△79	△3.0	山形市	1,077	10	0.9
韓国・朝鮮	1,836	1,743	1,687	28.0	△56	△3.2	米沢市	641	△1	0.2
フィリピン	664	662	666	11.1	4	0.6	鶴岡市	603	△17	△2.7
ベトナム	211	244	317	5.3	73	29.9	酒田市	492	△9	△1.8
米国	118	120	120	2.0	0	0	天童市	320	6	1.9
タイ	81	80	85	1.4	5	6.3	新庄市	318	1	0.3
ブラジル	75	74	78	1.3	4	5.4	寒河江市	260	△9	△3.3
インドネシア	64	74	72	1.2	△2	△2.7	東根市	251	30	13.6
マレーシア	59	53	42	0.7	△11	△20.8	長井市	215	△15	△6.5
							村山市	174	△11	△5.9
その他の国々	329	339	393	6.5	54	15.9	他の市町村	1,672	7	0.4
総数	6,106	6,031	6,023	100	△8	△0.13		6,023	△8	△0.13

**国別の状況**

中国(台湾を含む)が2,563人で全体の42.6%を占め、以下韓国・朝鮮1,687人(28.0%)、フィリピン666人(11.1%)、ベトナム317人(5.3%)と続いており、これらアジア4カ国だけで全体の86.9%を占めています。その他、米国120人(2.0%)、タイ85人(1.4%)、ブラジル78人(1.3%)、インドネシア72人(1.2%)と続いています。

**男女別の状況**

6,023人のうち、女性は4,652人(77.2%で前年比0.7ポイント減)、男性は1,371人(22.8%同0.7増)、となっています。外国人人口が多いアジアの4カ国については、女性の占める割合が中国は76.9%、韓国・朝鮮85.6%、ベトナム88.6%、フィリピン93.4%となっています。

**在留資格別の状況**

「永住者」が3,089人で全体の51.3%を占め、以下「技能実習」1,170人(19.4%)、「日本人の配偶者等」466人(7.7%)、「特別永住者」304人(5.0%)、「留学」253人(4.2%)、「定住者」166人(2.8%)などとなっています。「永住者」の外国人は県内全市町村に在住しています。平成25年

12月末との主な比較では、「家族滞在」が31人、「技能実習」が29人増加しており、「日本人の配偶者等」が70人減少しています。

**在留資格別在留状況**

在留資格	外国人人口(人)			構成比 (%)	対前年比 (人)	対前年増減率 (%)
	H24年	H25年	H26年			
永住者	3,102	3,091	3,089	51.3	Δ2	Δ0.06
技能実習	1,076	1,141	1,170	19.4	29	2.5
日本人の配偶者等	613	536	466	7.7	Δ70	Δ13.1
特別永住者	331	318	304	5.0	Δ14	Δ4.4
留学	252	252	253	4.2	1	0.4
定住者	199	175	166	2.8	Δ9	Δ5.1
家族滞在	123	129	160	2.7	31	24.0
教育	86	87	88	1.5	1	1.1
技能	66	77	85	1.4	8	10.4
人文知識 国際業務	64	63	71	1.2	8	12.7
技術	29	30	28	0.5	Δ2	Δ6.7
永住者の配偶者等	31	27	26	0.4	Δ1	Δ3.7
上記以外の在留資格	134	105	117	1.9	12	11.4
総数	6,106	6,031	6,023	100	Δ8	Δ0.13

**全国の外国人人口の概況**

平成25年末現在における国内の在留外国人数は、2,06万6,445人で、前年末に比べ32,789人(1.6%)増加し、我が国総人口(1億2,729万人)の1.62%を占めています。また、男女別では、女性が1,12万3,008人(全体の54.3%)、男性が94万3,437人(全体の45.7%)となっています。

多数を占める、出身国籍別・地域別登録者数は次表のとおりとなっています。

国籍	H25年(人)	構成比(%)	対前年比増減	対前年増減率(%)	地域	H25年(人)	構成比(%)
中国	682,402	33.0	7,074	1.0	アジア地域	1,676,343	81.1
韓国・朝鮮	519,740	25.2	Δ10,308	Δ1.9	南米地域	243,246	11.8
フィリピン	209,183	10.1	6,198	3.1	上記以外の地域	146,856	7.1
ブラジル	181,317	8.8	Δ9,292	Δ4.9	総数	2,066,445	100
ベトナム	72,256	3.5	19,889	38.0			
上記以外	401,547	19.4	19,228	5.0			
総数	2,066,445	100	32,789	1.6			

※上記の中国は台湾を含む

(法務省入国管理局発行 平成26年度版 在留外国人統計より)

◆山形県国際交流センター外国人相談窓口◆

相談直通電話：023-646-8861

英語・日本語：火～土 10:00～17:00

中国語：火・金 10:00～14:00

韓国・朝鮮語：木・土 10:00～14:00

ポルトガル語：水 10:00～14:00

タガログ語：金 10:00～14:00

相談専用メール：soudan@airyamagata.org

〒990-8580

山形市城南町一丁目1番1号 霞城セントラル2階

山形県国際交流センター 外国人相談窓口 担当：岡部

TEL:023-647-2560 FAX:023-646-8860

インターネットによる情報提供、メールによる相談も行っております。どうぞご利用ください。

<http://www.airyamagata.org>